

先週の説教要旨

『必ず実現する言葉』井上隆晶牧師
イザヤ 55 : 6~11、ルカ 24 : 36~49

①【復活のからだとは？】イエス様は、弟子たちが集まっているところに現れました。彼らは恐れおののき、亡霊を見ているのだと思いました。(37節) イエス様は彼らに「なぜ、うろたえているのか。どうして心に疑いを起こすのか。わたしの手や足を見なさい。まさしく、私だ。触ってよく見なさい。亡霊には肉も骨もないが、あなたがたに見えるとおり、わたしにはそれがある。」(39節)と言われました。亡霊や幽霊は、霊ですから触れることができません。しかし復活の体というのは、単なる霊ではなく、天的な身体、天に属する身体を持っているのであって、触れることができるのです。「まさしく、私だ。」という言葉に注意しましょう。イエス様は別人ではないしとして、釘跡のある手と足を見せられました。復活前のイエス様と、復活した後のイエス様は同じイエス様です。復活の体というのは別の新しい人間が創造されるのではなく、同じ人の体に変化、変容することなのです。全く別の人が創造されるなら、前の人、前の肉体は役に立たないので捨てられることになります。しかし神が創られた者につまらないものなどありません。どんなに障害をもって生まれても、それは神の意志であり、神の創造の業です。不完全で欠けがあり、歪み、傷つき、衰えた体であったとしても、それをすばらしいものに、完全なものにする力があります。救いは死をもって終わることはなくずっと続いており、つながっているのです。更に、彼らが喜びのあまりまだ信じられず、不思議がっているのだから「ここに何か食べ物があるか」(41節)と言われ、焼いた魚を取っ

て彼らの目の前で食べられたというのです。日本では仏壇に供え物をしますが、先祖の霊がそれらを食べる事はありません。彼らは霊だからです。しかし復活したイエス様は、この世の物を食べたというのです。天ともつながっていますが、この世ともつながっているということでしょう。イエス様は天と地の両方の性質を持つ者です。天と地をつなぐことが出来るのです。

②【人間には永遠を求める心がある】今、新緑のとて美しい時期になりました。木々の緑を見ると、命っていいなあ〜と思います。そして過ぎ去っていった若々しさを思います。神様の被造物は美しく、またもろく、悲しみを含んでいます。私たちの人生はあっという間に過ぎ去ってゆきますが、心の内には永遠を求める思い、変わる事のない美しさを憧れる心があります。ヘンリ・ナウエンがこんなことを書いています。「神は愛です」という単純な言葉は、いったんこれを土台に据えて生きようとする、はるかに深い意味を持ち始めます。私を創造した神が愛であり、愛以外の何ものでもないなら、人が私を愛してくれる以前から、私は神に愛されていることになります。私たちが創造したのは両親、つまり人間ではないのです。それは神です。両親も神に創造されました。神は私を創造し、自分に代って愛してくれるように両親に委ねたのです。親の限りある愛よりも先に、神の永遠に続く愛があったのです。

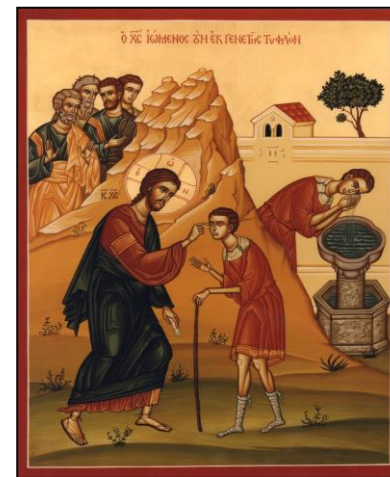
③【神の言葉は必ず実現する】イエス様は言われます。「わたしについてモーセの律法と預言者の書と詩編に書いてある事柄は、必ずすべて実現する。これこそ、まだあなたがたと一緒にいたころ、言っておいたことである。そしてイエスは、聖書を悟らせるために彼らの心の目を開いて、言われた。次のように書いてある。「メシアは苦しみを受け、三日目に死者の中から復活する。また、↑

週報

日本キリスト教団 都島教会

伝道所設立 1957年12月1日 教会設立 2001年12月2日
〒534-0012 大阪市都島区御幸町 2-6-17
TEL06-6922-1120 FAX06-6922-1120
Eメールアドレス: miyakoch@eagle.ocn.ne.jp
ホームページアドレス: <https://miyako.jima-church1.com>
郵便振替 00920-4-1442 日本基督教団都島伝道所
主任牧師 井上隆晶

2024年5月5日 No.1766



《シロアムの池に行つて洗え》

都島教会の2024年度の宣教方針

標語 《会堂建築の準備をしよう》

聖句 「イエス・キリストという既に据えられている土台を無視して、だれもほかの土台を据えることはできません。」(Iコリント3:11)

2024年度の目標

- 1 毎週礼拝を守り、礼拝出席平均27名を目指します。
- 2 一年間に一人を礼拝にお誘いします。
- 3 会堂建築のための具体的な準備をします。
- 4 皆で教会を建てる意識を育てます。